

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和2年第6回笠岡市議会定例会

9月14日・15日・16日(3日間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 坂本 亮平	1 笠岡市の特色を生かしたまちづくりについて	<p>笠岡市の特色である全国3番目の面積と言われる1,811haもの広大な干拓地。干拓地内では、農業・畜産を営む事業者が先進的な事業展開に取り組みされており、新たな可能性を見出している。また、近隣にはない素晴らしい総合スポーツ公園もあり、スポーツ人口の増進にも一役買っている。また、島しょ部では日本遺産の認定はもとより、多島美と言われる7つの有人島に特色ある文化や産業が根づいている。そこに、今回笠岡市所有となる、ふれあい空港を持つことにより、「陸・海・空」につながる笠岡市の新たな特色となると考える。</p> <p>この特色を未来へ生かすことができないのかと考え、以下の3点をお尋ねいたします。</p> <p>(1) 干拓地内の農業、畜産業の事業者とタイアップし、実地研修ができる農業学校(研修施設など)の誘致ができないか。</p> <p>(2) ふれあい空港でグライダーや飛行機のライセンスを取得できるなど、稼ぐ施設の側面を持った「航空公園」へと転換できないか。</p> <p>(3) 笠岡総合スポーツ公園の青空農園について、民間事業者とタイアップすることでスポーツ専用エリアへ変更を検討できないか。</p>	関係部長 〃 〃
	2 小中一貫教育及び幼保再編による学校	<p>小中一貫教育の推進や笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画により、笠岡市の教育環境は大きく変わる転機となっています。</p>	

	<p>や周辺等の整備について</p>	<p>これまでパブリックコメントや各地域での説明会がたびたび開催され、少なからずとも地域の方々や当事者たる保護者に説明をしてきたとされている中、教育の手法については教職員を含め専門家が集まりカリキュラムについて進めていると聞いております。</p> <p>その中で、これまでの説明会では柔軟性をもって対応すると再三言われてきた、施設整備や通学路を含む周辺整備については具体性に欠け、カリキュラムと同様に進めていかなければならない重要事案であると考え、以下3点をお尋ねいたします。</p> <p>(1) これまでの説明会では、富岡幼稚園をこども園へ再編する中で美の浜分譲住宅地での増員を見込み、幼稚園の建てかえという話があったが、既存幼保施設の建てかえを含む拡充整備はされるのか。</p> <p>(2) こども園への送迎は自動車送迎が多い中、駐車場や近隣整備は検討するのか。</p> <p>(3) 小中一貫教育の一体型該当校だけでなく、こども園についても通学路の安心安全確保や自然災害対策が急務である。この対応についてどのように考えているのか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
<p>2 桑田 昌哲</p>	<p>1 自然災害防止対策について</p>	<p>笠岡市地域防災計画では、「被災したとしても人命が失われないことを最重視し、また経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせることで災害に備え、災害時の社会経済活動への影響を最小限にとどめる」とある。</p> <p>自然災害は、今年も九州や関東・東北の各地で発生している。この笠岡市においても起こりうる災害だと考える。特に継続した大雨後の河川の氾濫・山崩れ・土砂等の災害、市民の安心・安全を考え市としての安全管理とさまざまな情</p>	

	<p>2 交流人口と観光の活性化について</p>	<p>報の周知の観点から、以下4点のことを尋ねる。</p> <p>(1) 防災・減災に取り組む笠岡市として災害に対する基本的な考え方を以下の内容について尋ねる。</p> <p>(ア) 山林管理のあり方について、本市のご見解について。</p> <p>(イ) 山林への自然エネルギー太陽光発電設置について、本市のご認識について。</p> <p>(2) 昨今の豪雨を鑑み、笠岡市内全域に及ぶ雨水が水害被害を拡大する傾向と考える。水害による防災・減災に対し、重要なキーワードは内水排除を考慮しなければならない。以下の内容について尋ねる。</p> <p>(ア) 市内内水排除を考え、市内排水場の整備状況はどうなのか。</p> <p>(イ) 都市計画後色々な線引きを変更し、その後での地域別の雨水排水に対する本市のご認識について。</p> <p>(3) 災害種別による避難所の市民の方への周知を本市のお考えについて。</p> <p>(4) コロナ対策を踏まえて、避難運営をどのようにするのか本市のご見解について。</p> <p>第7次笠岡市総合計画で、「道の駅の効果的な運営から道の駅を中心に笠岡市内への誘客から二次的な経済波及を」とのお考えであります。農業テーマパークとの話もあるが、全て車で廻りでなく、自転車で周遊は考えられないか。</p> <p>まずは干拓内から、そして市内への拡大をと考えることもできます。</p> <p>現状を踏まえてどのように改善するのかを尋ねる。</p> <p>(1) 道の駅から市内の他観光施設へ、利用状況はどれくらいなのか。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p> <p>市 長</p> <p>”</p> <p>市 長</p> <p>”</p> <p>市 長</p>
--	--------------------------	---	--

		<p>(2) 人が移動しようと思える魅力ある場所づくりをどのように考えているのか。</p> <p>まずは島しょ部以外でのお答えを求め</p> <p>る。</p> <p>(3) バイパス工事により、変更の多い道の駅への進入路安全確保が問題だと思われる。</p> <p>また、道の駅混雑時の安全管理の問題もある。以下について尋ねる。</p> <p>(ア) 安全で見えやすい看板設置はこれ以上できないのか。</p> <p>(イ) 側道での歩行者と車の安全管理はどのようにお考えか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>〃</p>
3 栗尾 典子	<p>1 笠岡市の広報戦略について</p> <p>2 地域おこし協力隊の現状と今後の課題について</p>	<p>笠岡市ではホームページ，広報かさおかなどを使い，さまざまな広報活動を行っている。</p> <p>(1) 行政広報のあり方についての基本的方針はどうなっているのか。原則，規則等があるのか。また，情報を出すときの責任はどこが持つのか。</p> <p>(2) 行政広報にさまざまなツールを使っているが，それぞれのツールについて，作成方法，目的，予算などについて尋ねる。</p> <p>(ア) 広報かさおか</p> <p>(イ) ホームページ</p> <p>(ウ) 緊急メールほか</p> <p>(エ) 各部署で出す情報</p> <p>(3) 今後の行政広報についての笠岡市としてのお考えをお示してください。</p> <p>現在笠岡市では地域おこし協力隊として7名が活動していると聞いている。また，これまで8名の隊員が赴任し，定住者は2名だと聞いている。</p> <p>(1) 地域おこし協力隊とは何なのか。笠岡市はこの事業で何を目標にしているのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

		<p>(2) 笠岡市のこれまでの具体的な成果はあるのか。</p> <p>(3) この事業の取組みの中での問題の認識はあるのか。</p> <p>(4) その対応はどうなっているのか。</p> <p>(5) 総務省は、今後さらに地域おこし協力隊の導入を増やす予定だと聞いている。笠岡市の今後の活用とその見通しを尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
4 仁科 文秀	1 西大島新田団地第4期工事について	<p>西大島新田団地は、約10年前から1期、2期、3期と団地が造成され、現在、全体で約80戸の住宅がある。そして、このたび第2期の南側に第4期の宅地造成が計画されている。今立川と浜中川に挟まれたこの団地は、土地が低く大雨が降ると浜中川が越水し2期の住宅地の数カ所が冠水するなど、現在でも生活上の安心安全が脅かされている。</p> <p>このたびの計画を聞いた住民は、業者からの工事計画の情報開示と事前説明を求めている。また、80戸の住宅があり、子供たちが70人以上いるにもかかわらず、県道へつながる道路が1本しかない現状を懸念している。住宅が増えた場合でも住民が安心して生活できるよう、万一の災害に備えて新たな道路の開設を強く要望している。</p> <p>すでに住民の声や団地内の状況などは笠岡市へ報告し、情報を共有しながら行政としても考えていただいております。地域としても感謝している。</p> <p>(1) 業者からの第4期の開発申請が遅れているが、提出されたか。</p> <p>(2) 工事の情報開示、事前説明と新たな道路の開設について、市民の安心安全を守るべき行政として要請できないか、尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>

	<p>2 空き家問題について</p>	<p>(3) 2025年には、2号線バイパスの開通が計画されている。このバイパスの排水は、どこにどのように流される予定か、尋ねる。</p> <p>(4) 西大島新田一帯は、笠岡市津波ハザードマップでも2m以上4m未満の津波被害が想定されている。7月に雨が100ミリ余り降ったときも、入江と大島を結ぶ入江かぶと橋から北側の田んぼと道路は冠水した。今後、2号線バイパス開通に向け、さらに住宅開発が進むことが予測される。住民の安心安全を守る観点から、笠岡市はどのように対応するのか、尋ねる。</p> <p>(5) 県道への進入路開設について、整備の考えを尋ねる。</p> <p>市内における空き家は増える一方で、倒壊等の危険があり、放置することが不適切と思われる「特定空き家」が年々大きな問題となっている。先日の台風10号の来襲で、空き家による被害を受けたお宅があったことが心配される。</p> <p>国は、平成26年11月に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を公布し、笠岡市では「空き家等の適正管理に関する条例」が平成27年7月から施行されている。</p> <p>法律や条例の施行にもかかわらず、空き家が放置され近隣に迷惑や被害を及ぼしているケースは年々増えてきているように思える。</p> <p>(1) 市内において、適切な管理ができず近隣に迷惑をかけている空き家の現状、数および対策を尋ねる。</p> <p>(2) 国の特措法や市の条例制定による効果について尋ねる。</p> <p>(3) 空き家について、所有者・相続人・親族等に適切な管理の責任があることと万一事故が起きた場合の賠償責任について、その</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--------------------	--	---

		リスクあることを伝えておく必要があると考える。笠岡市の考えと対策を尋ねる。	
5 山本 俊明	1 コロナウイルス感染抑制後の笠岡市の対応について	今後、コロナウイルス感染症も時期が不明確なもの感染がある程度抑制される時期が来る。その時経済・社会活動が全面再開となっても、経済・社会の構図は構造的に変化していると考え。新型コロナウイルス感染拡大前に検討された、地方自治体の基本構想や総合計画、さらに地方創生の計画がコロナ克服後の経済・社会活動の変化の中で矛盾はないか、あるいはリスクを抱えてはないか、今後の自治経営の方向性を一度立ちどまって検証する必要があると考えます。市長の考えを尋ねる。	市長
	2 令和元年度笠岡市公営企業会計決算について	先日、私の手元に令和元年度笠岡市公営企業会計決算書が届きました。水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計それぞれの会計において、職員の適切な判断や実施は間違いないと考えます。監査委員の決算審査意見書を踏まえた上で、令和3年度の予算編成に当たって、3つの企業会計についてどのように対処するのか、今後の市長の3公営企業の思い描いている姿・経営について尋ねる。	市長
6 真鍋 陽子	1 新型コロナウイルス感染について	(1) 今後2年から3年は続くと言われているwithコロナ社会の中で、笠岡市としてどのようなスタンスで市民に寄り添った行政運営をしていこうと考えているのかを尋ねる。 (2) 市役所や学校施設など、市内公的施設内に感染者が出た場合、濃厚接触者を多数同時に検査できる体制が笠岡市内に整っているのかを尋ねる。 (3) 感染予防対策におけるマスク着用が困難な児童生徒に対する対応について尋ねる。	市長 関係部長 教育長

		(4) 秋にさらなる流行が予測されている。今後感染者が拡大し始めたとき、市内学校における長期休校が行われる可能性はあるのかを尋ねる。	教育長
	2 気候変動対策について	(1) 100年に1度、50年に1度と言われる激甚災害が日本国内において毎年のように起こっている。その原因の1つが地球温暖化と言われており、さまざまな気候変動対策が各自治体で取り組まれている。CO <sub>2</sub> 削減対策において、笠岡市はどのような具体的な取り組みをしているのかを尋ねる。	関係部長
		(2) CO <sub>2</sub> 削減対策における今後のビジョンについて、また、この7月末、岡山県が2050年CO <sub>2</sub> ゼロ宣言自治体に加わったが、笠岡市はCO <sub>2</sub> ゼロ宣言自治体として宣言をする予定はあるのかを尋ねる。	市長
	3 10月25日投票岡山県知事選について	(1) 地域住民の意思に基づきながら地域運営を行う地方自治において選挙は大変重要だが、残念ながら笠岡市において投票率は下がり続けている。特に20代と80歳以降の有権者に対する具体的な取り組みが必要であることが過去5年間のデータから読み取れるが、岡山県知事選における具体的な啓発活動について尋ねる。	選挙管理委員長
		(2) 今後、選挙割キャンペーンなど関係各所の連携を持ちながら、さらなる積極的な広報・啓発活動を行う予定はないのかを尋ねる。	市長
		(3) 義務教育課程において、環境教育、主権者教育をどのように位置づけ、取り組んでいるのかを尋ねる。	教育長
	4 引きこもりについて	(1) 市長は今年度を引きこもり元年としているが、どのような覚悟で取り組まれているのかを尋ねる。	市長



		(2) 市内にいらっしゃる引きこもりの方々の総数，年代別数を尋ねる。	関係部長
		(3) 今後，引きこもりの方々に対して具体的にどのような施策を検討しているのかを尋ねる。	市長
	5 ヘルプマークについて	(1) 改めてヘルプマークとは何かを尋ねる。	関係部長
		(2) ヘルプマークをつけていても配慮をしてもらえずに悲しい思いをしたという声も届いている。ヘルプマークは障害がある方のためだけのものではない。まちづくりの根幹にある共助の精神を育むためのものでもある。継続的な啓発活動のため，定期的に年に一度は広報などで周知の必要があると考えるが，市長の見解を尋ねる。	市長
	6 パートナーシップ宣誓制度について	(1) パートナーシップ宣誓制度とは何かを尋ねる。	関係部長
		(2) パートナーシップ宣誓制度はすでに総社市，岡山市で導入されているが，今後，笠岡市として取り組む予定はあるのかを尋ねる。	市長
	7 子供たちの学びの環境について	(1) 性的マイノリティの子供たちが，成長の過程で苦しむこととして，学校における制服の問題がある。笠岡市では，女子のスラックス着用を許可しているのかを尋ねる。	教育長
		(2) インクルーシブ教育とは何か。また，笠岡市内の取組み状況を尋ねる。	〃
		(3) G I G Aスクール構想により，1人1台タブレットが実現しようとしている今，改めて学習権の保障，個別主体的な学びという言葉が数多く語られている。市内全支援級に整備された多層指導モデルM I Mを利用した具体的な施策について尋ねる。	〃
		(4) オーガニック給食とは何かを尋ねる。	〃

		<p>(5) 笠岡市内で育つ子供たちの健やかな成長のため、安心・安全なオーガニック給食を導入することはできないかを尋ねる。</p> <p>(6) 笠岡市内では放課後等デイサービスが慢性的に不足しており、新たな受け入れが不可能である一方、問い合わせは継続してある状況だ。このような状況をどのように解消していくことができるのかを尋ねる。</p> <p>(7) 学校教育課と放課後等デイサービスの連携状況を尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>関係部長</p> <p>教育長</p>
7 森岡 聡子	<p>1 新型コロナウイルス禍による市政への影響について</p> <p>2 地域再生課題について</p>	<p>コロナ禍による「新しい生活様式」の中で、医療、福祉、教育、雇用等、生活全般に見直しが求められている現況について本市としてどのような対応策を考えていますか、次のことについてお尋ねします。</p> <p>(1) 市中感染、熱中症、インフルエンザ予防接種の取組み等、特に高齢者、子供、障害者への配慮について。</p> <p>(2) 子供のストレス(心身不調)等について、また、教育現場としての養護教員について。</p> <p>(3) 市区町村が地域の実情に応じたサービスを提供するために、3年に1度策定する介護保険事業計画に国の基本指針を改正し、初めての感染症や災害への対策を盛り込むことを決め、2021年度から自治体の次期計画に反映すると報道されていますが、本市の取組み等について。</p> <p>社会情勢から見たまちづくりの課題として、1. 少子高齢化への対応、2. 地域密着したきめ細かい土地利用、既存施設や遊休地を活用した効率的、効果的な土地利用が求められています。</p> <p>(1) 本市は、桃、ブドウの生産農家が多数あります。特に今井、陶山地区が産地として知られています。</p>	<p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

		<p>陶山地区の土地利用をみると、農業振興を重点的に行う農用地が62万1,644.94㎡。耕作放棄地（荒廃地）41万7,459㎡となっています。平成21年4月に線引き廃止が行われています。これからの農用地の利活用を考えたとき、農業振興地域の見直しについて、市としての方向性についてお尋ねします。</p> <p>(2) 農業分野での担い手の減少、高齢化の進行等により労働力不足が深刻な問題であることは周知の事実です。</p> <p>(ア) ICT、ロボット技術の活用と支援策についてお尋ねします。</p> <p>(イ) 平成28年4月1日、農業委員会法が改正され新制度2期目です。農業委員会の役割と方向性についてお尋ねします。</p> <p>(3) 太陽光発電施設の導入について、次のことについてお尋ねします。</p> <p>(ア) 本市での取組み状況、問題点、課題等について。</p> <p>(イ) 市の責務として設置基準（ガイドライン）について。</p> <p>(ウ) 災害時における対応策等について。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
8 山本 聡	1 JR笠岡駅周辺整備の基本構想について	<p>(1) 平成27年4月に策定された笠岡市都市計画マスタープランでは、全体構想の中、(2)の整備方針として、井笠地域の中核都市にふさわしい都市中心部の整備とあり、具体的にJR笠岡駅周辺の市街地の再編整備として駅周辺の商業・業務機能や文化、交流機能等の集積を図る、また、第7次笠岡市総合計画より“笠岡市の未来に向けて”と題し、プラス要因として上げているJR山陽本線の存在などが上がっている。また、本年3月に改訂された創生総合戦略では、</p>	関係部長

		<p>J R 笠岡駅周辺の整備によるにぎわいを創生するとあるが、K P I などの指標がどのように決められ、どう展開されているか尋ねる。</p> <p>(2) マスタープランで示されている駅舎周辺の整備，特に駅南地区の開発について，駅南側について，計画的な面整備や施設設置の誘導とあるが，駅舎整備計画の中で委員会より指針（方向性）が示されているが，今後の取組み内容について，ロードマップ等進捗状況について尋ねる。</p> <p>(3) 整備方針として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北市街地の一体化推進</li> <li>・駅南からのアクセス改善</li> <li>・交通結節機能の強化</li> <li>・駅と港・商店街等の連携強化</li> <li>・駅周辺のにぎわい創出，地域情報発信とあるが，駅舎表口，及び商店街の求心力が落ちているとの指摘もある。今後の具体的振興策は示されているか。</li> </ul> <p>(4) 笠岡港への乗降客の導線において，笠岡駅と直接つながる（デッキ等）ことによるメリットは大きいと考えるが，この点についてどう考えているか。</p> <p>(5) 昨年日本遺産認定後の駅周辺の取組みとして，例えば，商店街の現在のタイルを石の島としてクローズアップされた北木島を象徴する石を利用したモニュメント，あるいは街路を石畳に変えたらどうかと思うが，このような振興策は可能か。（鞆の浦を参考）</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p>
	<p>2 防災，減災計画の観点より，B C P（事業継</p>	<p>(1) 笠岡市の業務継続計画（B C P）で基本的な考え方として，前提として上げられているのが南海トラフ地震であるが，台風の</p>	

	<p>続計画) について</p>	<p>大型化，あるいは現在のコロナなどの疫病などを想定した計画を早急に取りまとめる必要があると考える。この点，実施体制は整っているか尋ねる。</p> <p>(2) 現在の本庁舎及び分庁第一以外に庁舎使用不能時の代替庁舎は想定しているか。</p> <p>特に本庁舎の耐震化の計画はあるか。また，建てかえの予定はあるか尋ねる。</p>	<p>市長</p>
--	------------------	---	-----------